

平成 22 年度 学校評価アンケート結果について

八戸市立高館小学校
校長 田名部 喜郎

春寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、11月の参観日に保護者の皆様よりアンケートにご協力いただいたところ54パーセントの方から回答をいただきました。そのうち下記の8項目については児童と教職員からもアンケートを取り、比較検討いたしました。学校では、この結果を生かしながら「地域とともに歩む学校づくり」を進めていきたいと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。

観 点	考察・改善点等
1 気持ちのよい返事やあいさつができる。	<p>昨年から継続して児童・保護者・教職員ともに80%強が「よい以上」に評価していることからあいさつは習慣化していることがわかりました。</p> <p>今後も指導を継続して、気持ちのよい返事やあいさつになるようご家庭でも声かけをお願いします。</p>
2 話をしっかり聞き取ることができる。	<p>児童のアンケートから90%がしっかり聞いたと答えている。これは、努力目標「はっきり話す」を実践するためには「聞かれたことに、答える」「聞いたことに、反応する」ということの自覚から出てきているものと思います。</p> <p>今後も「書く力」の向上が「話すこと」の向上になっているので、「書く力」をつけることが「話す・聞く」を向上させることになると考え、「書く力」をつける活動を継続し充実させていきます。</p> <p>教職員の評価が低いのは、聞くスキル（技）の到達度を評価した結果によるもので、スキルの指導を継続し、聞く力の一層の向上を目指します。</p>
3 正しい言葉づかいで、はっきり話すことができる。	<p>児童のアンケートでは、書く話すスキルの活用を図ったことから、はきはきした言い方ができるようになったと感じている子が増えている。保護者の皆さんも同様にはきはき言えるようになったと感じているようです。</p> <p>教職員は「聞くスキル」と同様に「話すスキル」が十分でないと感じていることから評価が低くなっている。話す力をもっとつけていくため指導を継続していきます。</p> <p>言葉づかいの評価は、保護者も「はっきり話す」に比べて低くなっている。基本として名前を呼ぶときに「くん」や「さん」をつけて呼ぶ指導を継続し、言葉づかいを意識させていきます。</p>
4 身の回りの整理や清掃ができる。	<p>保護者・教職員ともに60%前後という結果になった。これは、つかった物を元に戻さなかったり、自分の物と友だちのものとの区別がつかなくなったりすることからきているものと思われます。</p> <p>あれもこれもではなく、ひとつのことに絞って片付けができればほめる。達成感・満足感を持たせようで整理整頓を意識させていきたいと考えています。</p> <p>児童の評価は昨年比べてよく評価しています。これは、整理・整頓を意識していることを示すものと思いますので指導を継続していきます。</p>
5 進んで読書ができる。	<p>読書を習慣づけるために、火曜日の読書タイムを活用して物語を読む楽しさを味わわせる工夫をしました。また、土日の家庭での読書を奨励したり、目標冊数目標ページを設定したりすることで読書の習慣をつけるように指導しています。</p> <p>読書の習慣については、児童・保護者ともに昨年と同様の評価であるが、教職員は、各学級での読書量を数値化したことで十分達成できたと感じているので、家庭への情報提供も必要と感じています。</p>
6 家庭学習ができる。	<p>児童・保護者・教職員ともに80%以上が定着を感じています。</p> <p>これは、学級だより等を活用して子どもの実態や現状について情報提供したことで保護者からの励ましもあったのではないかと推察でき、広報活動は効果的だったと思われます。今後は、ピカ1ノートの紹介などで内容の充実に努めていきたいと考えています。</p>
7 自他の生命を大切にできる。	<p>学級での生き物の世話を通して生命尊重の気持ちを育んだこと、栄養士さんの話を聞く食育の取り組みをしたこと、親子学習会で助産師さんから「いのちの話」を聞くなど継続して指導しています。</p> <p>来年度もこの指導を継続していく。歯の治療率が低いので、これを上げることにも幼稚園・保育園と連携しながら一層取り組んでいきます。</p>
8 目標をもち、粘り強く努力することができる。	<p>児童・保護者・教職員ともに80%以上が定着を感じている。マラソンや家庭学習など具体的な目標設定が示されたことが、子どもの意欲喚起につながり、カードや児童手帳「高館っ子」で到達度を確認できたことで達成感・成就感を得ることができたのが効果的だったと考えています。</p> <p>来年度も努力目標「毎日運動する」の実践として指導を継続していきます。</p>